

特任教員の公募について

このたび、本研究所では下記の要領で教員を公募します。

記

1. 採用人員 国際沿岸海洋研究センター生物資源再生分野 特任助教 1名

2. 任期 平成30年3月31日まで
(毎年度更新、最大で更新3回(最長で平成33年3月31日を越えない。))

3. 採用予定時期 平成30年1月以降のできるだけ早い時期

4. 公募の趣旨

平成23年度に開始された東北マリンサイエンス拠点形成事業(海洋生態系の調査研究)では、地震と津波で被害を受けた三陸漁業の復興をめざし、その基盤となる海洋環境や生態系が地震・津波で受けた影響と生態系の回復過程の解明、およびそれらの将来予測を目的として、様々な調査、観測、モニタリングなどを行っています。地震・津波による大規模攪乱の直接的・間接的影響は現在でも継続しており、海洋生態系の変化は続いています。さらに、沿岸の復興工事等に伴う新たな生態系の攪乱も始まっています。事業の後半に入った現在、このような生態系の変化を記録し続けると同時に、生態系の変化を考慮した効率的・持続的な漁業やそのための生態系保全の方策を提言することを目指して活動を継続しています。

本公募では、東北マリンサイエンス拠点形成事業(海洋生態系の調査研究)に専従する特任助教として、地震・津波によって大きな攪乱を受けた三陸沿岸域の底生生物の変化に関する研究に実績を持つ方を求めます。また、三陸の漁業復興や生態系保全を進めるため、研究成果のアウトリーチ活動にも意欲的な方を希望します。平成30年度にセンターに設置される予定の研究展示室(海の勉強室)の企画・展示にも中心的に携わっていただきますので、特に、底生生物の生態学・分類学に精通する方を求めます。

5. 提出書類

- 1) 履歴書(東京大学統一様式(http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html))による。写真貼付)
- 2) 研究業績目録(原著論文、総説、その他に分け、査読の有無を明記すること。また、わかるものについては被引用件数を付記すること)
- 3) 主要論文3編の別刷(またはコピー)各1部
- 4) これまでに行なってきた研究の概要(A4用紙1枚程度)
- 5) 今後の研究と東北マリンサイエンス拠点形成事業に対する抱負(A4用紙1枚程度)
- 6) 応募者について参考意見を述べることのできる人(2名)の氏名および連絡先

6. 応募書類提出期限 平成29年 11月9日(木) 17時 必着

7. 提出書類送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所長 津田 敦 宛

(封筒に生物資源再生分野特任助教応募書類在中」と朱書き、簡易書留等で送付して下さい。応募書類は本公募の選考に係る作業の目的以外には使用しません。なお、特に要望がない限り、応募書類は選考後も返却いたしません。)

8. 関連教員構成

国際沿岸海洋研究センター(平成29年9月1日現在)

	教授	准教授	助教	特任助教
沿岸生態分野	道田 豊(兼)*	田中 潔	白井厚太郎	
沿岸保全分野	青山 潤 佐藤克文(兼)*	福田秀樹	峰岸有紀	(公募中)
生物資源再生分野	河村知彦	北川貴士	早川 淳	(本公募)

*道田教授と佐藤教授は、それぞれ国際連携研究センター国際企画分野、海洋生命科学部門行動生態計測分野を本務とする兼任教授

東北マリンサイエンス拠点形成事業（東京大学大気海洋研究所）幹事会

木暮一啓（研究代表、教授）、永田俊（教授）、津田敦（教授）、河村知彦（教授）、福田秀樹（准教授）、小川浩史（准教授）、田中潔（准教授）

9. 勤務場所

岩手県大槌町赤浜3-8-1 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター

2011年の津波で被災した国際沿岸海洋研究センターの研究棟、宿舎棟は平成30年3月に再建の予定です。

10. 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

11. 問い合わせ先

〒028-1102 岩手県大槌町赤浜3-8-1 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 教授 河村知彦

Tel: 0193-42-5611 e-mail: kawamura@aori.u-tokyo.ac.jp (◎を@に変えて送信して下さい。)